

シンポジストのご紹介

東北地方の取材経験から

門田一徳氏（河北新報社東京支社編集部記者）

T P P 参加反対は特に地方からの要望が強い。T P P による東北地方への影響についての取材をとおして明らかとなった地域の現状、被災地の本当の意味での復興や住民の思いが尊重される地域社会を実現するために何が必要かなど、問題提起をしていただきます。

雇用・労働問題と助け合い

河添 誠氏

（首都圏青年ユニオン 青年非正規労働センター事務局長
／非営利・協同総研いのちとくらし研究員・事務局長）

国際競争力強化の名の下に進められた雇用の不安定化。それにより「働いても貧困」という深刻な状況が生じています。労働組合としてこの問題に取り組んできた立場から、問題を解決する上でも労働者同士の連帯の重要性、そのなかで共済活動の果たす役割について触れていただきます。現在ある共済を単に守るというだけでなく、共済の可能性等についても問題提起をしていただきます。

共済団体の立場から

中 重治氏（一般社団法人全国保険医休業保障共済会理事）

保険業法改定以前に行っていた共済の原状復帰を認める法改定が2010年に成立しました。これにより制度の継続が可能となったものの、行政庁の認可を取得するなど、多大な負担を強いられたことも事実です。

団体自治に基づく市民の自主的な活動が、もっと認められるよう訴えます。